

# 令和8年度事業計画

令和8年3月

一般財団法人四国産業・技術振興センター

## 目 次

令和 8 年度事業方針	1
Ⅰ 新技術・新製品開発の支援	2
1. 国の補助金等を活用した支援	2
2. 当センター独自の支援	2
Ⅱ 販路・用途開拓の支援	2
1. 補助金等を活用した支援	2
2. マッチングサイト（ヘルシー四国）による販路拡大支援	3
3. 支援対象企業／技術に応じた展示会を活用した販路拡大支援	3
Ⅲ 4 県連携支援コミュニティの形成・深化	3
1. CNF を活用した新事業の創出支援	3
2. フードテック推進支援	4
3. イノベーション四国を通じた支援	4
Ⅳ その他の事業	4
1. セミナー・講習会等	4
2. 四国産業技術大賞	4
3. 大学との連携	5
4. 次世代層向け科学技術イベント等	5
5. 賛助会員との交流促進	5
6. 情報発信	5

## 令和8年度事業方針

令和7年度は、米国の通商政策等により社会経済活動の先行き不透明感が増す中、人材不足や原材料価格の高騰、海外情勢リスクなどにより、中小企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況となった。

一方で、株価上昇など明るい兆しもあり、当センターが実施する研究開発補助金事業や四国産業技術大賞の募集においては、コロナ禍終息以降、応募件数が毎年大幅に増加するなど、域内企業における技術開発意欲の高まりがうかがわれた。

また、産学官金の域内関係機関と連携しながら伴走型支援を実施し、域内産業界が抱える課題の解決を目指した事業運営に取り組んだ。

令和8年度は、国の重点戦略17分野に関する補助金等の動向を注視し、国やJKA等の支援施策を引き続き活用しながら、企業支援に取り組む。

具体的には、重点戦略分野である「フードテック（機能性食品を含む）」分野については「フードイノベーション（技術による市場インパクトの創出）」につながる支援を行うとともに、「GX（石油系樹脂を木質系で置換など）」分野においては、CNF（セルロースナノファイバー）をはじめとする高機能素材分野への支援を継続する。

これらの支援事業の実施に当たっては、以下の3項目を重点課題とする。

- ① 成長や事業化が期待できる企業の新技术・新製品開発支援
- ② 四国発の特色ある商品・独自技術に対する販路・用途開拓支援
- ③ 四国域内企業の成長を促進する4県連携支援コミュニティ\*の形成・深化

※ 第二期四国地域連携支援計画（注1）、四国フードイノベーション推進会議 など

実施に当たっては、四国地域イノベーション創出協議会（注2。以下「イノベーション四国」という。）の事務局として、会員各機関およびイノベーションコーディネーター（IC）と連携し、産学官金のハブとしての役割を発揮しながら、各支援対象企業や技術の内容に応じて、最適な支援機関や専門家を組み込んだ支援体制を構築した上で、地域企業に対するワンストップ型の幅広い支援を推進する。

（注1） 地域未来投資促進法に基づき、各県が定めた産業活性化取組のうち4県共通の分野について、四国の産官学金からなる企業支援機関が連携し支援計画を策定し、経済産業大臣承認を得て実施するもの。

（注2） 平成20年度に設立した、企業が抱える課題の解決を四国の総合力で支援する組織。四国内の研究機関、産業支援機関、大学・高専等、金融機関など計48の会員機関が保有する人材、ネットワーク、機器や研究成果等の資源を総合的に活用し企業支援を行っており、当センターが事務局、産業技術総合研究所四国センター（以下「産総研」）と中小企業基盤整備機構四国本部（以下「中小機構」）が副事務局を務めている。

## I. 新技術・新製品開発の支援

### 1. 国の補助金等を活用した支援（技術・製品開発支援事業）

国の重点戦略17分野に関する補助金等の動向を注視しながら、技術・製品開発を行っている各社の要望に応じて外部資金獲得を支援していく。

昨年度をもって、当センターが事業管理機関を務めた「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」の採択案件は終了したが、今年度は新規案件の採択を目指すとともに、これまでに蓄積した同事業の運営・管理ノウハウの維持・継承を図る。

- ・企業の外部資金獲得に当たっての応募申請の支援
- ・経済産業省「成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech）」の応募企業の支援と事業管理機関としての進捗管理 など

### 2. 当センター独自の支援（技術・製品開発支援事業）

公的機関の支援事業よりも補助率が高く使い勝手の良い当センター独自の開発支援事業を継続して実施する。また、当センター事業の特長を広く周知することで支援対象案件の質と量の向上を図る。

- ・大学・高専・公設試等の研究機関と企業が行う共同研究費用の一部助成
- ・企業が単独または共同で行う、将来の事業化を目指した研究調査事業の実施
- ・基礎自治体等訪問やWEBのヒット率向上施策の導入による認知度向上

など

## II. 販路・用途開拓の支援

### 1. 補助金等を活用した支援（企業間マッチング支援事業）

四国の特性を活かした商品や有望な独自技術の販路・用途開拓の支援を実施する。

また質の高い技術や新商品を有する四国の企業を選出し、Webマーケティングを併用したビジネスマッチングを実施する。

- ・大企業経営層OBなどで構成される専門機関を通じた個別マッチング など

## 2. マッチングサイト(ヘルシー四国)による販路拡大支援(企業間マッチング支援事業)

機能性食品を含む付加価値のある食品素材・商品および食品加工機器など「フードテック」分野の販路開拓を支援するため、当センターのマッチングサイト「四国発！ヘルシー食品&素材マッチングウェブ(ヘルシー四国)」を活用して、効果的に支援を行う。

- ・インターネットを通じた企業間取引(BtoB)に意欲のある企業の発掘とマッチングサイトを利用した販路開拓
- ・自社ホームページやSNSを新たな販路とすることを旨とする企業向けにデジタルマーケティングの公的資格を有する専門家「ウェブ解析士」を派遣するなど、DX技術を活用した効率的なリスティング広告出稿などのハンズオン支援を行う

など

## 3. 支援対象企業/技術に応じた展示会を活用した販路拡大支援(出展支援事業)

食産業支援では、フードテックの一分野である廃棄食材のアップサイクル技術や機能性食品素材やそれらの抽出・濃縮技術などについて、都市圏の大手企業とのマッチングを図るための出展支援を継続しており、当センターによる技術開発支援対象であった商品/技術が、出展支援を通じて小売り大手からの大型受注に間接的に貢献した事例も出てきている。

令和8年度も、こうした技術開発の成果を販路・用途開拓まで繋げる支援を継続する。

# Ⅲ. 4県連携支援コミュニティの形成・深化

## 1. CNFを活用した新事業の創出支援(成長産業支援事業)

将来技術として期待されるCNF(セルロースナノファイバー)について、関連産業の創出を目指して、愛媛大学や4県の工業技術センターや企業(合計166者)などとともに「四国CNFプラットフォーム」をベースに、取組企業の製品開発から販売までの活動を効率的に支援している。

また、CNFを含む高機能素材については、4県の行政と金融機関を含む第二期四国地域連携支援計画の枠組みも構築し、当センターは事務局(ハブ)を務めている。

こうした横連携を活用し、CNFについても、前述した食産業と同様に、技術開発を販路・用途開拓まで繋げることを目指して支援事業を継続する。

## 2. フードテック推進支援（産業振興事業）

四国産の機能性食品に対する認証制度である「四国健康支援食品制度（ヘルシー・フォー）」の普及広報及び認証申請支援を実施するなど、食産業の付加価値向上に向けた取り組みを支援している。

当センターは、上記制度を含む機能性食品を活用した付加価値向上を目指す企業団体、「四国健康食品普及促進協議会」（4県の食産業企業など50者で構成）の事務局（ハブ）を務めている。

四国経済産業局が「フードテック」「フードイノベーション」を推進するために4県の企業・行政・大学・金融機関などで組織したコミュニティ「四国フードイノベーション推進会議」の事務局（ハブ）として、当センターの支援対象企業の裾野拡大など、相乗効果を目指した取り組みを推進する。

## 3. イノベーション四国を通じた支援（産業振興事業）

四国内の研究機関、産業支援機関、金融機関などの会員機関やコーディネーターと連携しながら技術開発・販路開拓の支援を行っていく。

また、同協議会事務局（ハブ）として、各県にて支援機関・IC連絡会を開催するなど、イノベーション四国の活動の活性化を図っていく。

# IV. その他の事業

## 1. セミナー・講習会等（技術・製品開発支援事業、産業振興事業）

付加価値向上を目指す企業の技術開発等の課題解決に向けた取り組みを支援するために、四国経済産業局や大学など当センターが事務局（ハブ）を務めるコミュニティと連携して、

- ・機能性食品を含むフードテック関連技術
- ・CNFなどの高機能素材の利活用

などに関連するセミナーや講習会等を開催する。

## 2. 四国産業技術大賞（イノベーション四国顕彰事業）

四国経済産業局、産業技術総合研究所および中小企業基盤整備機構と共同で、「四国産業技術大賞」の顕彰事業を運営し、四国の産業技術や産業振興の発展に顕著な貢献があった企業の表彰を行う。

表彰に当たっては、各賞受賞企業の技術・製品や事業のPRに努め、販路開拓支援にもつなげていくとともに、全国大の顕彰事業に推薦する。

### 3. 大学との連携（産業振興事業）

四国経済産業局と連携して、域内大学のインターンシップ制度や技術ブランディングなどの取り組みを通じた産官学連携強化に取り組む。

また、オープンイノベーションの形で研究者と企業との交流、大学と共同研究する企業支援、大学発ベンチャー企業の販路開拓支援などに取り組む。

### 4. 次世代層向け科学技術イベント等（産業振興事業）

香川県内の児童生徒の科学や技術に対する関心を高め、様々な実地体験を通して人間としての成長を図ることを目的とした「かがわけん科学体験フェスティバル」を香川大学と共催して、同フェスティバルを支援する。

また、「四国地区高校生溶接技術競技会」に協賛、「ロボットアイデア甲子園四国大会」を後援し、高校生の科学技術の支援を実施する。

### 5. 賛助会員との交流促進（産業振興事業）

当センター賛助会員への訪問を通じ、賛助会員企業の課題や当センター事業への要望などを意見交換し、支援策を提案するなど賛助会員サービスの促進を図る。

「賛助会員交流会」を開催し、会員企業のプレゼンや懇親会を通じて、会員企業間のマッチングや交流を深める。

また、当センターが支援する企業に、新規賛助会員登録を勧める。

### 6. 情報発信（産業振興事業）

情報誌（STEPねっとわーく）やホームページ、メールマガジン等を活用し、当センターおよびイノベーション四国の認知度・理解度向上につながる効果的な広報・情報提供を行っていく。

以 上